

<b>科目名：科目名：歯科予防処置Ⅱ &lt; 歯周病予防Ⅱ &gt;</b>		<b>必</b>	<b>1 単位</b> <b>(45 時間)</b>	
( Practice of Oral Prophylaxis Ⅱ < Periodontosis Prevention Ⅱ > ) 履修年次/時期：2 年次 前期 授業形態：講義・演習 主担当教員：関端麻美（実務経験 歯科衛生士 4 年 歯科医院での実務経験に基づき、歯周病予防・管理の知識と技術を修得し、安全に実践できる歯科衛生士を養成するための講義・演習を実施する。） 担当教員：山本裕子				
学修目的	歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために必要な、専門的知識、技術および態度を修得する。 CP 2、3、4、6 に関連する。 科目No. S2C10H11			
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○	
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎	
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。		
	3. 口腔の健康支援を通して、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○	
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。		
		(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○	
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP			
	○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	① エビデンスに基づいた知識と技術を修得する。 ② 適切なシャープニングの方法がわかる。 ③ 必要な器材の準備ができる。 ④ 歯・口腔・歯肉の診査ができる。 ⑤ 安全かつ適切な歯石除去の操作を修得する。 ⑥ 安全かつ適切な歯面研磨の操作を修得する。 ⑦ 超音波スケーラー、エアスケーラーの基本操作方法を修得する。 ⑧ 安全な操作のため器材の点検ができる。 ⑨ 安全管理を配慮した行動ができる。 ⑩ スタンダードプリコーションに基づいて、感染予防に留意して実施できる。 ⑪ 相互実習を体験し、患者を思いやる心や協力する態度を養い、各自の技術の向上に努めることができる。			
授業概要	歯周疾患の予防のための歯石除去法について安全で基本的な操作実技・技術をファントム実習および相互実習で習得する。			
評価方法	筆記試験：80%、小テスト・提出物・実習態度等：20% の総合評価 ルーブリックによる評価を併せて行う 試験に対するフィードバックは掲示で行う。			
予習・復習時間	【予習】 0.2h 【復習】 0.2h			

教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論』全国歯科衛生士教育協議会監修：医歯薬出版
参考書	『歯科衛生学シリーズ 歯周病学』全国歯科衛生士教育協議会監修：医歯薬出版
アドバイザー 連絡先	<p>関端麻美 月～金 16：20～17：00 3号館2階教員研究室 sekibatai@kdu.ac.jp</p> <p>山本裕子 月～金 16：20～17：00 3号館2階研究室 yamamoto.yuko@kdu.ac.jp</p> <p>事前にメールをいただくと確実に対応ができます。</p>

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1・2 A (4/16) B (4/16)	歯面研磨 ①歯面研磨の目的を説明できる。 ②歯面研磨に必要な器材を理解する。 ③歯面研磨の操作方法を理解する。 ④マニキン上で歯面研磨の操作ができる。	[予習] 教科書：P.220～227 [復習] 歯面研磨の方法を復習 [キーワード] 歯面研磨, RDA 値, 歯面研磨剤, コントラアングルハンドピース, カップ, ブラシ, PTC	講義・演習 ○関端 山本
3・4 A (4/23) B (4/23)	スケーリング・口腔内観察 ①マニキン上でのスケーラー操作に習熟する。 ②マニキン上で安全に歯面研磨の操作ができる。 ③自分の口腔内の状態を把握し説明できる。	[予習] 教科書：P.185～201 [復習] 修得が不十分な点について改善策を 考え、練習する。 [キーワード] シックルスケーラー, キュレットスケ ーラー, 把持法, 適合, レスト, 側方 圧, 歯面研磨, 操作方向	演習 ○山本 関端
5・6 A (4/30) B (4/30)	シャーピング ①シャーピングの意義と方法を理解する。 ②シャーピングの器材を理解する。 ③シャーピングの手技を理解する。	[予習] 教科書：P. 202～208 [復習] シャーピング方法を復習する。修得 が不十分な点について改善策を考え、 練習する。 [キーワード] 砥石、角度、カッティングエッジ	演習 ○山本 関端
7・8 A (5/14) B (5/14)	相互スケーリング（上顎） ①口腔内を観察し、健全歯、修復・補綴、歯石の有無の識別ができる。 ②相互で上顎のハンドスケーラー操作ができる。 ③部位に応じて、適切な歯面研磨法を選択し実施できる。 ④スケーリング、研磨操作における適切なミラー操作ができる。 ⑤スケーリングと歯面研磨の操作を復習し、安全で確実なものにする。 ⑥清潔・不潔の識別ができる。 ⑦歯科予防処置実施にあたり、生体への配慮（感染予防、偶発事故の防止）ができる。	[予習] 教科書：P.185～202, 222～228 講義資料やノートを読み、ポイントを 整理する。 [復習] 修得が不十分な点について改善策を 考え、練習する。 [キーワード] 口腔内診査、把持法、スケーラー操作、 歯面研磨、ブラシ・ポイント類、 清潔・不潔	演習 ○関端 山本
9・10 A (5/21)	相互スケーリング（下顎） ①口腔内を観察し、健全歯、修復・補綴、歯石の有無の識別	[予習] 教科書：P.185～202, 222～228	演習 ○関端

<p>B (5/21)</p>	<p>別ができる。</p> <p>②相互で下顎のハンドスケーラー操作ができる。</p> <p>③部位に応じて、適切な歯面研磨法を選択し実施できる。</p> <p>④スケーリング、研磨操作における適切なミラー操作ができる。</p> <p>⑤スケーリングと歯面研磨の操作を復習し、安全で確実なものにする。</p> <p>⑥清潔・不潔の識別ができる。</p> <p>⑦歯科予防処置実施にあたり、生体への配慮（感染予防、偶発事故の防止）ができる。</p>	<p>講義資料やノートを読み、ポイントを整理する。</p> <p>[復習]</p> <p>修得が不十分な点について改善策を考え、練習する。</p> <p>[キーワード]</p> <p>口腔内診査、把持法、スケーラー操作、歯面研磨、ブラシ・ポイント類、清潔・不潔</p>	<p>山本</p>
<p>11・12 A (5/28) B (5/28)</p>	<p>相互スケーリング（全顎）</p> <p>①口腔内を観察し、健全歯、修復・補綴、歯石の有無の識別ができる。</p> <p>②相互でのハンドスケーラー操作に習熟する。</p> <p>③部位に応じて、適切な歯面研磨法を選択し実施できる。</p> <p>④スケーリング、研磨操作における適切なミラー操作ができる。</p> <p>⑤スケーリングと歯面研磨の操作を復習し、安全で確実なものにする。</p> <p>⑥清潔・不潔の識別ができる。</p> <p>⑦歯科予防処置実施にあたり、生体への配慮（感染予防、偶発事故の防止）ができる。</p>	<p>[予習]</p> <p>教科書：P.185～202,222～228</p> <p>講義資料やノートを読み、ポイントを整理する。</p> <p>[復習]</p> <p>修得が不十分な点について改善策を考え、練習する。</p> <p>[キーワード]</p> <p>口腔内診査、把持法、スケーラー操作、歯面研磨、ブラシ・ポイント類、清潔・不潔</p>	<p>演習 ○関端 山本</p>
<p>13・14 A (6/11) B (6/11)</p>	<p>超音波スケーラー操作</p> <p>①超音波スケーラーの基礎知識と基本技術を復習する。</p> <p>②超音波スケーラーの適切な操作法を相互に体得する。</p> <p>③適切なミラー操作ができる。</p> <p>④適切なバキューム操作ができる。</p> <p>⑤清潔・不潔の識別ができる。</p> <p>⑥歯科予防処置実施にあたり、生体への配慮（感染予防、偶発事故の防止）ができる。</p>	<p>[予習]</p> <p>教科書：P.209～220</p> <p>講義資料やノートを読み、ポイントを整理する。</p> <p>[復習]</p> <p>修得が不十分な点について改善策を考え、練習する。</p> <p>[キーワード]</p> <p>磁歪式、電歪式、振動、インサートチップ、使用角度、ストローク、キャビテーション、エアロゾル、適応禁忌</p>	<p>演習 ○山本 関端</p>
<p>15・16 A (6/18) B (6/18)</p>	<p>エアスケーラー操作</p> <p>①エアスケーラーの基礎知識と基本技術を復習する。</p> <p>②エアスケーラーの適切な操作法を相互に体得する。</p> <p>③適切なミラー操作ができる。</p> <p>④適切なバキューム操作ができる。</p> <p>⑤清潔・不潔の識別ができる。</p> <p>⑥歯科予防処置実施にあたり、生体への配慮（感染予</p>	<p>[予習]</p> <p>教科書：P.209～220</p> <p>講義資料やノートを読み、ポイントを整理する。</p> <p>[復習]</p> <p>修得が不十分な点について改善策を考え、練習する。</p>	<p>演習 ○山本 関端</p>

	防、偶発事故の防止)ができる。	[キーワード] インサートチップ、使用角度、ストローク、圧縮空気、振動数、適応禁忌	
17・18 A (6/25) B (6/25)	サブソニックブラシ・イリゲーション ①サブソニックブラシの特徴と使用方法の基礎を理解する。 ②歯周ポケットのイリゲーションについて知識を復習しシリンジによるイリゲーションを模型上で行う。 ③適切なミラー操作ができる。 ④適切なバキューム操作ができる。 ⑤清潔・不潔の識別ができる。 ⑥歯科予防処置実施にあたり、生体への配慮(感染予防、偶発事故の防止)ができる。	[予習] 教科書：P.209～220 講義資料やノートを読み、ポイントを整理する。 [復習] 修得が不十分な点について改善策を考え、練習する。 [キーワード] インサートチップ、使用角度、ストローク、キャビテーション、イリゲーション、エアロゾル、SUS ブラシ	演習 ○関端
19・20 A (7/9) B (7/9)	歯面清掃・まとめ ①歯面清掃に必要な器材を理解する。 ②口腔内で安全に機器を用いた歯面清掃が実施できる。 ③清潔・不潔の識別ができる。 ④生体への配慮(感染予防、偶発事故の防止)ができる。	[予習] 教科書：P.220～227 [復習] 歯面研磨の方法を復習 [キーワード] RDA 値、歯面研磨剤、コントラアングルハンドピース、カップ、ブラシ、PTC	講義・演習 ○関端 山本